

令和3年度 第1回

九州地方新広域道路交通ビジョン及び計画の検討に係る有識者懇談会

(議事概要)

1. 日 時：令和3年7月2日（金） 15:00～16:30
2. 場 所：第二合同庁舎 10階 第4会議室（WEB会議）
3. 出席者：荒牧 軍治 佐賀大学 名誉教授 ※五十音順・敬称略
辰巳 浩 福岡大学工学部社会デザイン工学科 教授
中川原達也 九州バス協会 専務理事
西 正博 九州トラック協会 専務理事
升本 喜之 （一社）九州経済連合会 観光社会基盤部長
円山 琢也 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授
吉村 充功 日本文理大学工学部建築学科 教授
渡邊 太志 （一社）九州観光推進機構 事業本部長

4. 議事概要

- ビジョン（案）・計画（案）ともに、現状課題や基本方針などが網羅的に整理されており、よくまとまっている。
- 今回のようなネットワーク計画等の策定においては、他ブロックの計画との関係性も踏まえた幅広い視点で検討を進めていくことが重要。
- 国際化の観点、半島や離島地域への支援からも主要な港湾・空港を拠点と位置付け、アクセス道路を強化することは、円滑な物流・人流を確保する意味でも重要。
- 基山 PA などの交通拠点や防災道の駅などの防災拠点は、九州全体として機能するため、今後も強化に向けた取組を進めていくべき。
- ETC2.0をはじめ、MaaS や自動運転などの ICT 技術については、今後、いかに普及させていくかが課題であり、道路管理者としてもニーズに応えていくことが重要。
- H6 策定の広域道路整備基本計画から道路事業の進め方も変わってきており、B/C や計画段階評価等の考え方についても、今後、議論を深めていくべき。

以上